

市民活動推進助成事業(区政推進基金) 寄附者のみなさまへ

# みなさまの寄附金で、 大阪を元気にする 6事業を実施しました！

～平成25年度 大阪市市民活動推進助成事業～

このたびは、市民活動推進助成事業(区政推進基金)へのご寄附ありがとうございました。  
みなさまからいただいた寄附金を活用して、平成25年度は6事業を実施しました。  
助成を受け、事業を実施している団体より、寄附者のみなさまへの報告が寄せられましたので、ご紹介いたします。  
今後も、市民活動の推進のため、みなさまのご理解・ご協力をお願いいたします。

～みなさまからこんなにたくさんの寄附金をいただきました～

平成24年1月1日～12月31日		平成25年1月1日～12月31日	
寄附金額	3,267,930円	寄附金額	3,677,572円
寄附件数	20件	寄附件数	11件

クリックひとつでできる市民活動！ クリック募金のご案内  
平成21年10月より、「大阪市 市民活動のためのクリック募金」ホームページを開設しました。  
協賛企業のバナーを1回クリックすることで3円が、協賛企業より寄附される仕組みです。  
ぜひ一度ご覧ください！

【協賛企業一覧(掲載順・敬称略)】  大阪市 クリック募金 で検索！

大阪シティ信用金庫	大阪信用金庫	(株)アルファテック
富士ゼロックスシステムサービス(株)	NTTコミュニケーションズ(株)	センコー(株)

## 事業報告(順不同)

事業名	発達障がい児・者の支援者へのタブレット端末を活用しての支援研修		
団体名	特定非営利活動法人チャイルズ	助成額	313,000円

～助成事業を実施して～

発達障がい児・者にとってタブレットは、苦手を補い強みを生かせる端末として現在世界各地で注目され、その実践が少しずつ広がっています。しかし、学習・支援機器として有効活用するには、まず支援者側が機器の使い方や留意点などを熟知する必要があり、その専門的知識を持つ人材不足が今後の課題となっています。

この事業は、大阪市立の小・中学校にタブレット端末が導入されることを受け、発達障がい児・者がタブレットを有効な学習・支援ツールとして自身で活用していく事へのサポートが出来る(発達障がい児・者の)保護者・教員・支援者の養成を目標とし実施致しました。

内容は(年間12回 3回×4コース)タブレットの特性を学ぶ事から始まり、実際に支援機器として活用する段階の実習を交えた中級コースまでを開講しました。

受講後のアンケート結果で特に印象的だったのは、「iPadを含むタブレットは、発達障がい支援に必要なアイテムだと感じましたか?」の問いにほぼ100%の割合で「感じた」と回答があった事です。また12回の講習会に加えて、初級・中級各1回ずつ開催したiPad cafeでは、講師の方がボランティアでご参加くださり、初級では実践発表・情報交換を行いました。中級ではあえて実践発表の担当者・時間は設けませんでした。実際にその実践をしている方々が多数参加されていた事から、自然と各々の

発表の時間を持つ事となりました。とても有意義な情報交換の時間となったと感じております。今回、大阪市市民活動推進助成事業のご支援を頂いて、この講習会を開講出来た事をとても感謝しています。本当に有難うございました。



事業名	不登校・ひきこもりの子ども・若者を対象としたオープン講座		
団体名	特定非営利活動法人フォロ	助成額	740,000円

～ 助成事業を実施して～

不登校・ひきこもり状態にある子ども・若者の誰もが参加できる、週2回・年間開催数62回の講座を開催しました。参加者総数は742名(1講座平均12名)で10代～60代と幅広く、特に20代の若者の連続参加が目立ちました。助成のおかげで多様な講師陣の招聘が実現し、外部講師総数は43名にのぼり、多角的視点から深く学び合う機会となりました。

テーマは、「仕事」「老若男女にまつわる話」「映画」「生きづらさからの生存戦略」の4つの柱に分け、身体障がいや自閉症スペクトラム、セクシャルマイリティなどの当事者が週替わり講師を務めました。多彩多様な人たちとつながりのある市民運営の場ならではの内容だったと思います。

なかには、人の集う場へは初参加の若者もいて、彼らの希望から生まれた企画が期間後半にいくつもありました。

各回の予定はWEBを駆使して広報する工夫をしました。参加者・講師の双方に本事業は好評でした。今後もこの事業で得たことを活かした活動を、できる形で実施していきたいと思います。



ゲームプログラマーのシゴト  
(8/21)



助産院見学 (10/9)



障害学入門 (9/17)

事業名	子どもの健全な育ちを支えるための親の居場所作りと、そのためのマニュアル作成		
団体名	NPO法人暴力防止情報スペース・APIS	助成額	265,000円

～ 助成事業を実施して～

自分の子育ての悩みを安全な場で話したり聞いたりできる『お母さんのしゃべり場』を提供しました。子どもの健全育成のために6年継続している西区で開催の「わいわいトーク」、新たに都島区で「ゆるゆるトーク」を合計15回開催し、のべ約100人の参加がありました。今後も継続して、場の提供を行っていきます。

「あなたも子育て応援隊～子どもの健全な育ちを支えるための親の居場所作り～」運営マニュアルを作成し、当団体のHPに載せました。今まで私たちが積み上げたノウハウをまとめたものです。マニュアルを必要とするすべての人に使っていただける内容になっています。

<http://www.apis-npo.org/pdf/kosodati.pdf>

参加者の声（アンケートより）・・・自分の子育てを客観視できた・色々な人の意見や体験談が聞けた・日頃の疑問や不満を聞いてもらえた・子どもへの接し方が少しずつ変わってきた・自分を大切にすることが子どもを大切にすることだとわかった 等



出来上がったマニュアル



APISのHPからダウンロードできます



わいわいトークで、普段の自分を振り返り



マニュアル作成のために度々ミーティングを開催しました

事業名	夜間サテライト事業		
団体名	NPO法人西淀川子どもセンター	助成額	400,000円

～ 助成事業を実施して～

様々な理由で夜を一人で過ごしている子どもの支援を行う「夜間サテライト事業」の2014年度からの本格実施に向け、事業の立上げを行いました。

6月～7月には、社会福祉士、新聞記者、夜間高校教諭、保護観察官などを講師として招き、ボランティア養成や地域・学校・自治体などとの連携作りを目的に「全5回の学習会」を開催したところ、毎回定員を大きく超え、総勢207名の多様な参加者が集まり、事業への関心の高さを感じました（写真 ）。



学習会を通して新たに加わったボランティアと来所している中学生を中心に、夜の時間を過ごす全4回の「モデル実習」を実施しました（写真 ）。



また12/13,14には、日本子ども虐待防止学会に参加し、パネル展示にて本事業の発表を行いました。

本事業を通して得たつながりと学びを生かし準備を進めて、4月に説明会、5月より年間60回の「いっしょにごはん!食ベナイト?」実施に入ります。専門機関との連携も始まりました。夜間支援を必要とする子ども達に届きますよう、今後ともご支援のほど、よろしく願いいたします。

事業名	障がい者による、都市の緑化啓発事業		
団体名	特定非営利活動法人まんぼう	助成額	523,000円

～ 助成事業を実施して～



障がいを持つ人も持たない人も、社会貢献活動を行いながら、障がい者の自立と市民との相互理解を図る新たな試みを行いました。

大阪の緑化をテーマに、障がい者が主役のミュージカル（2014年2月15日 NHK大阪ホール）を開演しました。観客動員数は928人。

アンケートの結果、障がい者への理解も73%高まり、公演を見て環境問題に取り組もうと思う人も88%にのびりました。また、出演した障がい者は自信を持ち笑顔が増えたり、発語が増える等、自立に向けた効果が見られました。さらに、本事業のボランティア実人数は、100名を超え他団体の協力もあり、公演を実施する過程に於いても障がい者とボランティアの交流、相互理解が進みました。

今後は本事業の成果を十分に活かすためにも継続的に活動し、誰もが暮らしやすい大阪の実現に向けて活動の幅を広げていきたいと考えています。



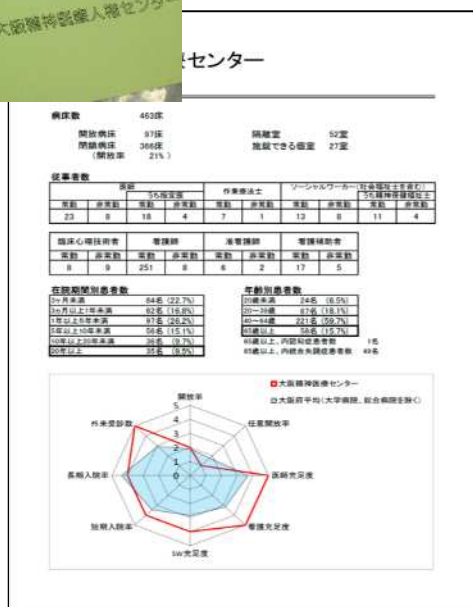
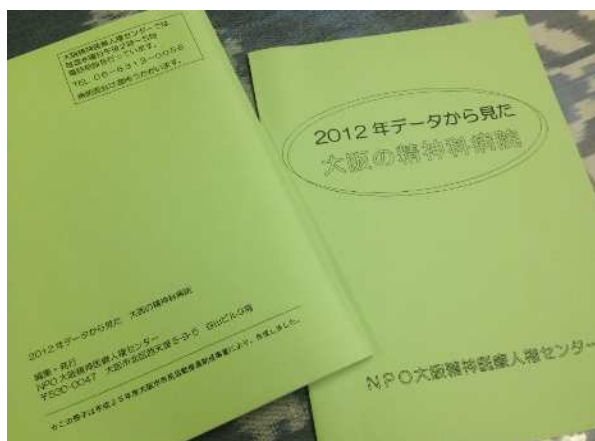
事業名	精神病院の情報をわかりやすく公開するための事業		
団体名	特定非営利活動法人大阪精神医療人権センター	助成額	470,000円

～ 助成事業を実施して～

精神病院の入院環境は徐々に改善されてきています。  
 しかし、市民が病院を選ぶための情報はまだまだ多くはありません。  
 本事業では、各病院が毎年行政に提出する資料からグラフを作成して冊子にまとめ、同じ内容のものを当センターホームページに掲載しました。病院が出したデータを入力すればすぐにグラフが完成するエクセルソフトを作成しました。

**事業の効果**

- ・市民が精神科病院を選ぶために参考になる情報を冊子とホームページで公開できました。
- ・次年度からは元データの入手から短期間でグラフを作成してホームページで公開できるようになりました。市民にとっては新しい情報を早く入手できるようになります。
- ・また、他府県の病院についても同様のグラフを作成でき、今後は他地域との比較が可能になります。このことは日本の精神医療全体の向上につながります。



**グラフ**

病院ごとのグラフには大阪府の平均を入れました。グラフでの評価項目は医師・看護師・福祉職が担当するベッド数や患者の在院期間、開放病棟（施設されていない）がどれくらいあるか等です。どのような数式で評価をしたかの解説文もいれました。

平成26年3月11日（火）13：00～16：00中央区役所7階会議室にて、平成25年度大阪市市民活動推進助成事業報告会を開催しました。